

地図で見る滋賀県市町の姿

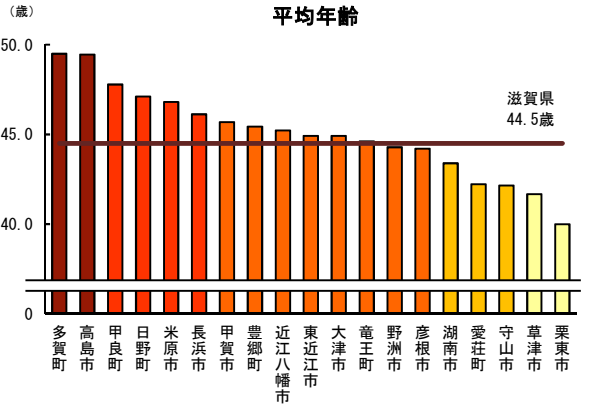
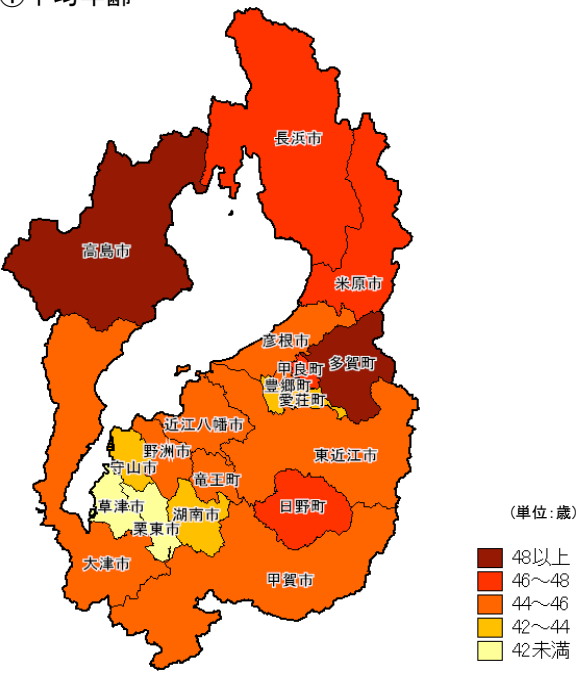
滋賀県内の各市町の統計データを地図とグラフで表しました。
 自分の住んでいる市や町がどんなところか周囲の市や町と比べてみてください。
 なお、人口、工業の製造品出荷額等は「図で見る滋賀県の姿」に掲載しています。

①平均年齢

「平成27年国勢調査」

平成27年10月1日現在の住民の平均年齢を市町別にみると、栗東市が40.0歳で最も低く、次いで草津市が41.7歳となっています。
 一方、多賀町が49.5歳で最も高く、次いで高島市が49.4歳となっています。

①平均年齢



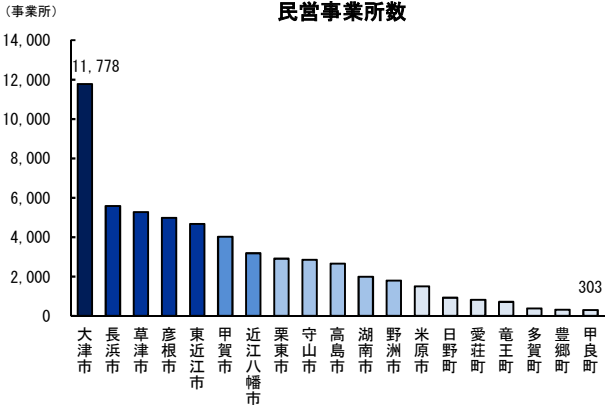
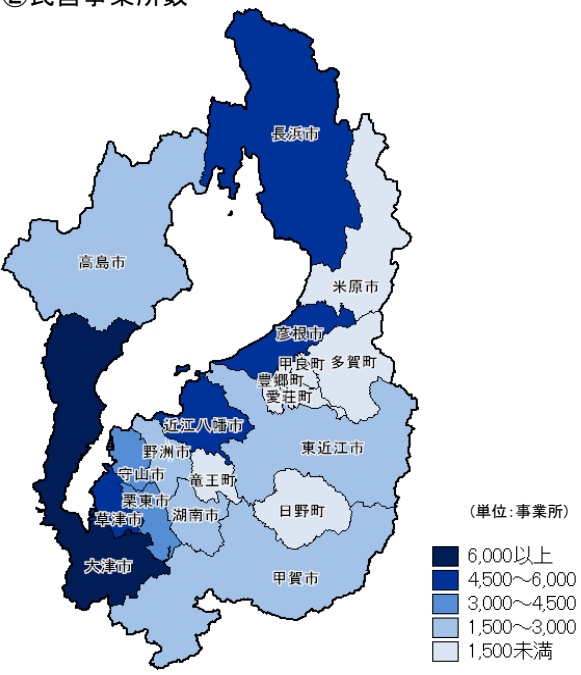
②民営事業所数

「平成28年経済センサス-活動調査」

平成28年6月1日現在の民営事業所数を市町別にみると、大津市が1万1,778事業所で最も多く、次いで長浜市が5,583事業所、草津市が5,278事業所、彦根市が4,983事業所となっています。
 一方、最も事業所数が少ないのは、甲良町の303事業所となっています。

※1 事業内容等不詳を含む

②民営事業所数



③就業者のうち第2次産業に従事する人の割合

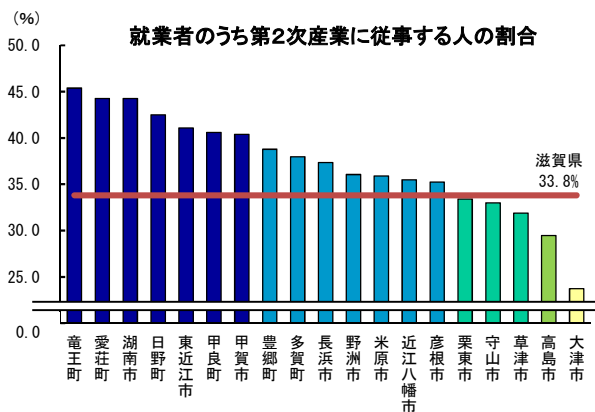
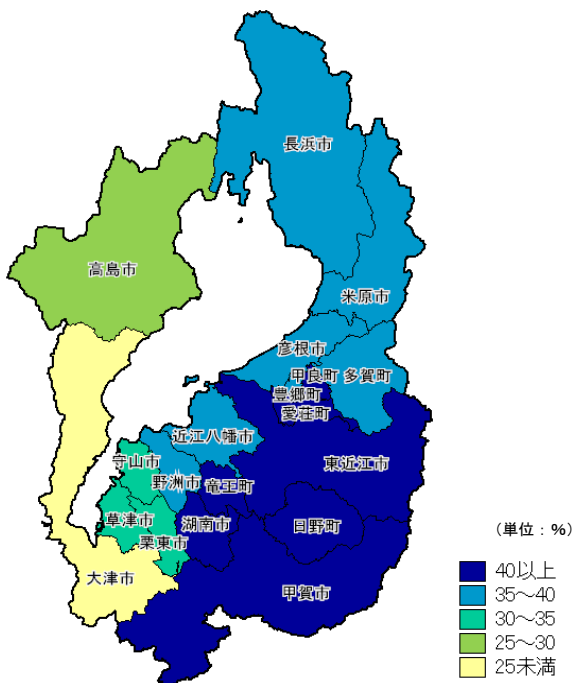
「平成27年国勢調査」

就業者のうち第2次産業に従事する人の占める割合を市町別にみると、竜王町が45.4%と最も高く、次いで愛荘町と湖南省が44.3%となっています。

一方、大津市が23.7%と最も低く、次いで高島市が29.5%、草津市が31.9%となっています。

※2「分類不能の産業」はどの産業にも分類されないため、割合の算出において、分母から除いている

③就業者のうち第2次産業に従事する人の割合



④刑法犯認知件数

(人口千人当たり)

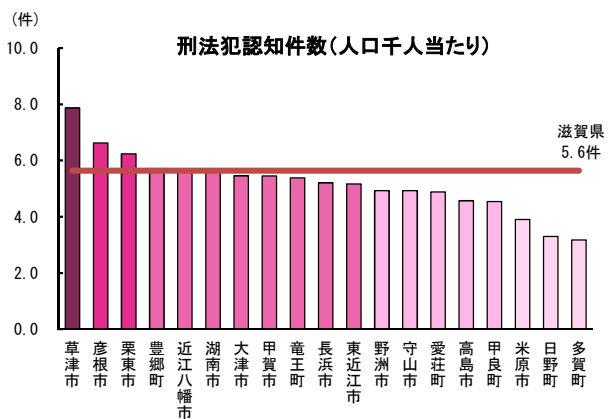
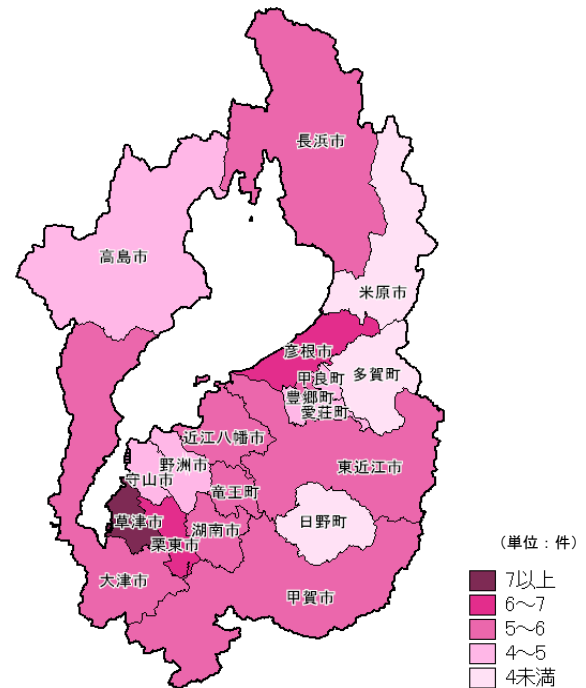
「滋賀の犯罪 平成30年」

人口千人当たりの刑法犯認知件数を市町別にみると、草津市が7.9件と最も多く、次いで彦根市が6.6件、栗東市が6.2件となっています。

一方、多賀町が3.2件と最も少なく、次いで日野町が3.3件、米原市が3.9件となっています。

※3「発生地不明」は除く

④刑法犯認知件数 (人口千人当たり)



⑤交通事故発生件数

(人口千人当たり) 「滋賀の交通 平成30年」

人口千人当たりの交通事故発生件数を市町別にみると、竜王町が5.0件と最も多く、次いで近江八幡市が4.0件、甲良町が3.8件となっています。

一方、日野町が1.5件と最も少なく、次いで高島市が2.0件、長浜市が2.5件となっています。

※4 市町別値には「高速道路等」の件数を含まない。

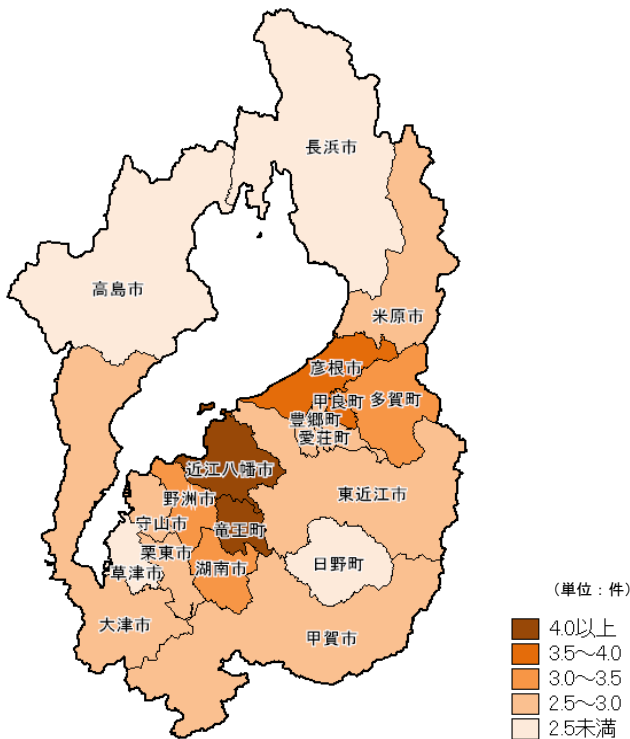
⑥一般診療所1か所当たり人口

「医療施設調査 平成30年」

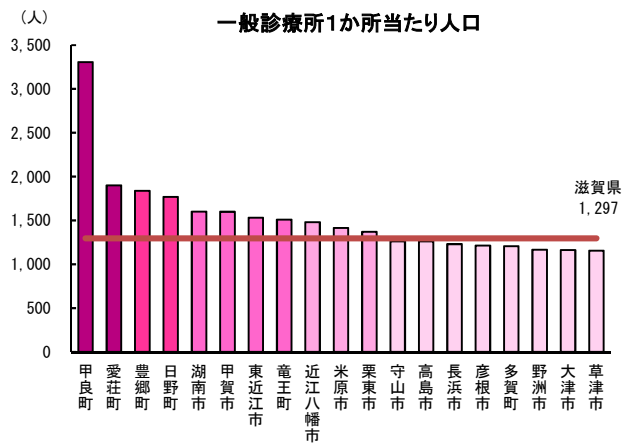
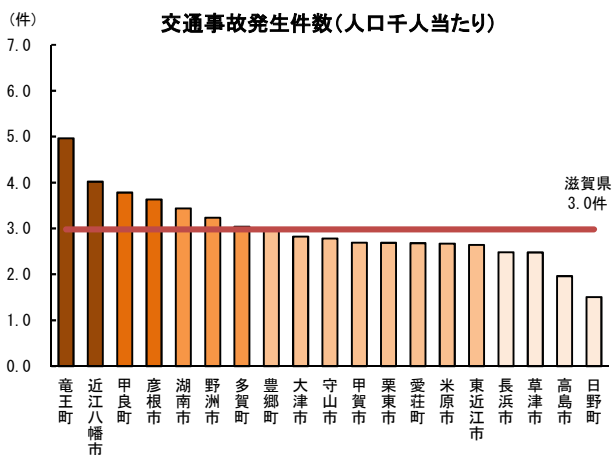
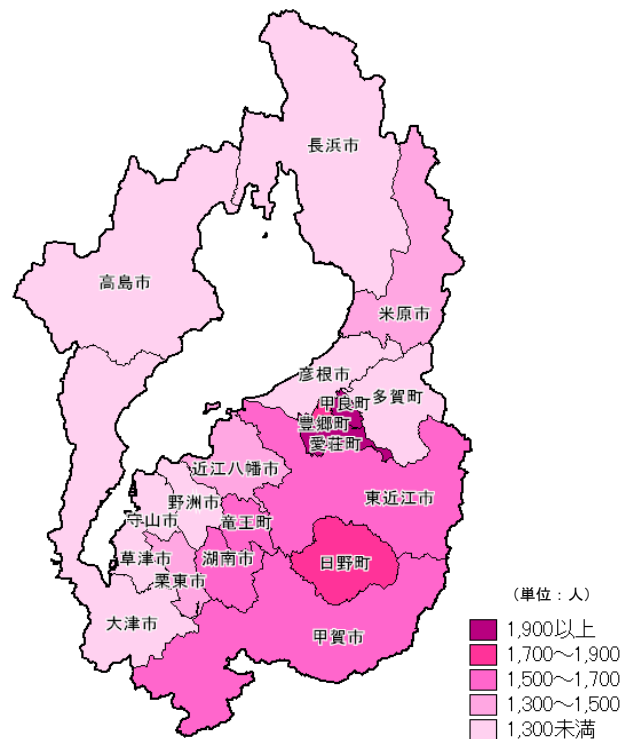
一般診療所1か所当たりの人口を市町別にみると、草津市が1,155人と最も少なく、次いで大津市が1,162人、野洲市が1,166人となっています。

一方、甲良町が3,306人と最も多く、次いで愛荘町が1,900人、豊郷町が1,839人となっています。

⑤交通事故発生件数 (人口千人当たり)



⑥一般診療所1か所当たり人口



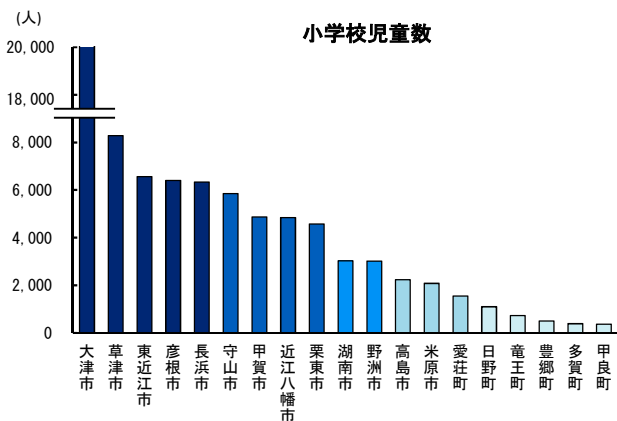
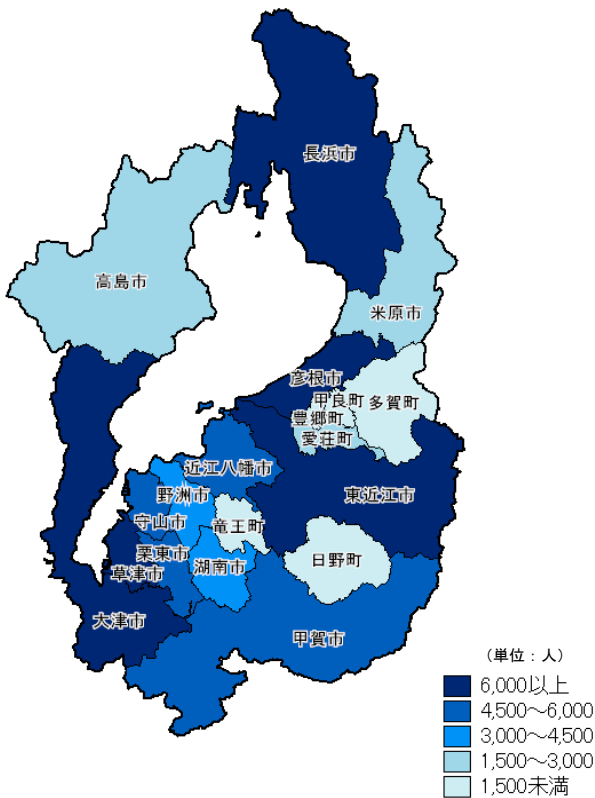
⑦小学校児童数

「学校基本調査 令和元年」

令和元年5月1日現在の小学校の児童数を市町別にみると、大津市が19,156人と最も多く、次いで草津市が8,282人、東近江市が6,562人となっています。

一方、甲良町が360人と最も少なく、次いで多賀町が384人、豊郷町が493人となっています。

⑦小学校児童数



⑧ラスパイレス指数*

「県市町振興課」

平成31年4月1日現在のラスパイレス指数を市町別にみると、守山市が102.4で最も高く、次いで草津市が101.3、野洲市、東近江市が100.7となり、100.0以上の団体は5団体となっています。

一方、豊郷町が96.4と最も低く、次いで甲良町が96.5、多賀町が96.6となっています。

*国家公務員行の給与水準を100とした場合の地方公務員の給料水準を示す指数

⑧ラスパイレス指数

